

司書に関する科目（平成27年度入学生用）

科目コード	授業コード	科目名	単位	時数	学年	開講	担当教員	摘要
80010	80011	生涯学習概論（月曜Ⅲ限）	2	30	1・2	前期	高橋 英子	いずれか一つ履修
80010	80012	〃（月曜Ⅳ限）						
80030		図書館概論	2	30	1	前期	孫 誌銜	
80040		図書館制度・経営論	2	30	1・2	後期	（ ）	
80040		図書館情報技術論	2	30	1・2	集中	池 美沙子	9月開講
80060		図書館サービス概論	2	30	1	前期	孫 誌銜	
80060		情報サービス論	2	30	1・2	後期	（ ）	
80070		児童サービス論	2	30	1・2	集中	千 錫烈	2月開講
80080		情報サービス演習A	1	30	2	後期	（ ）	
80090	80091	情報サービス演習B	1	30	2	後期	（ ）	いずれか一つ履修
80090	80092	〃						
		図書館情報資源概論	2	30	1	集中	松林麻実子	
		情報資源組織論	2	30	1	後期	新藤 透	
80120		情報資源組織演習	2	60	2	通年	新藤 透	
80130		文献情報学	2	30	1・2	前期	新藤 透	

（注）「授業コード」がある場合、同じ科目名の授業の中から1つのみ選択できる

司書に関する科目（平成28年度入学生用）

科目コード	授業コード	科目名	単位	時数	学年	開講	担当教員	摘要
80010	80011	生涯学習概論（月曜Ⅲ限）	2	30	1・2	前期	高橋 英子	いずれか一つ履修
80010	80012	〃（月曜Ⅳ限）						
80020		図書館概論	2	30	1	後期	（ ）	
80030		図書館制度・経営論	2	30	1・2	後期	（ ）	
80040		図書館情報技術論	2	30	1・2	集中	池 美沙子	9月開講
80050		図書館サービス概論	2	30	1	前期	新藤 透	
80060		情報サービス論	2	30	1・2	後期	（ ）	
80070		児童サービス論	2	30	1・2	集中	千 錫烈	2月開講
		情報サービス演習A	1	30	2	後期	（ ）	
		情報サービス演習B	1	30	2	後期	（ ）	いずれか一つ履修
		〃						
80100		図書館情報資源概論	2	30	1・2	後期	新藤 透	
80110		情報資源組織論	2	30	1	後期	新藤 透	
		情報資源組織演習	2	60	2	通年	新藤 透	
80130		文献情報学	2	30	1・2	前期	新藤 透	

（注）「授業コード」がある場合、同じ科目名の授業の中から1つのみ選択できる

司書教諭に関する科目(平成27年度入学生用)

科目コード	科目名	単位	時数	学年	開講	担当教員	摘要
80210	学校経営と学校図書館	2	30	1・2	集中	杉山 悦子	9月開講
80220	学校図書館メディアの構成	2	30	1・2	後期	新藤 透	
80230	学習指導と学校図書館	2	30	1・2	集中	伊藤 弘昭	2月開講
80240	読書と豊かな人間性	2	30	1・2	集中	千 錫烈	[司]「児童サービス論」で相互乗入読替 2月開講
80250	情報メディアの活用	2	30	1・2	後期	()	

司書教諭に関する科目(平成28年度入学生用)

科目コード	科目名	単位	時数	学年	開講	担当教員	摘要
80210	学校経営と学校図書館	2	30	1・2	集中	杉山 悦子	9月開講
	学校図書館メディアの構成	2	30	1・2	後期	新藤 透	[司] 図書館情報資源概論 「情報資源組織論」で相互受入読替え
80230	学習指導と学校図書館	2	30	1・2	集中	伊藤 弘昭	2月開講
80240	読書と豊かな人間性	2	30	1・2	集中	千 錫烈	[司]「児童サービス論」で相互乗入読替 2月開講
80250	情報メディアの活用	2	30	1・2	後期	()	

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
80010	80011 ～12	生涯学習概論	2	高橋 英子	前期	

【達成目標】

生涯学習の理論や歴史的動向、法制度に関する基礎的な理解を深める。
生涯学習の意義や理念を具体的な実践事例に照らして考える力を身に付ける。

【授業内容・方法】

授業は講義形式で行う。生涯学習の基礎的な概念や法令、施策の動向や社会教育行政、学校教育・家庭教育との関連、社会教育施設、専門的職員の役割、生涯学習活動への支援等について概説する。

【授業計画】

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. オリエンテーション・生涯学習社会の意義 | 9. 女性と生涯学習 |
| 2. 生涯学習と現代社会 | 10. ボランティア活動と市民活動 |
| 3、4. 生涯学習の理念①② | 11. 学校・家庭・地域の連携協力 |
| 5. 生涯学習を支える社会教育 | 12、13. 生涯学習の内容・方法・形態①② |
| 6、7. 社会教育行政①② | 14. 学習への支援と学習成果の評価 |
| 8. 専門施設としての図書館と博物館 | 15. まとめ ※関係法令は講義内で随時触れる。 |

【テキスト】

笹井宏益・中村香著『生涯学習のイノベーション』玉川大学出版部、2013、(価格 2400 円＋税)
その他、必要に応じて関連する資料やレジュメを適宜配布する。

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

生涯学習は理論や法令を覚えるだけでなく、学びへの主体的参加が大切です。講義では実践事例を紹介し、皆さんの経験や考えも参考にします。具体的なイメージを持って生涯学習の理解を深めましょう。

【評価方法】

テスト (50%)、ミニレポートの提出 (30%)、授業への参加度 (20%)。授業は 2/3 以上の出席が必要。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
80020		図書館概論	2		後期	

後日配布

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放																
80050		図書館サービス概論	2	新藤 透	前期																	
<p>【達成目標】 昨今の図書館界を取り巻く状況は刻々と変化している。かつてのように、司書はカウンターで本を読んでいれば事足りる時代は過ぎ去り、図書館が積極的に多種多様な利用者のニーズに応えるために、様々な図書館サービスを行う新しい波が到来している。この授業は、司書として知っておかなければならない基礎知識を見につけるとともに、図書館界の最近の動向についても適宜織り交ぜて講義する。</p> <p>【授業内容・方法】 講義を主体としつつも、最新の図書館界のトピックを盛り込みながら対話型の授業を目指したい。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション</td> <td>9. 児童サービス、YA サービス</td> </tr> <tr> <td>2. 図書館サービスの意義と理念</td> <td>10. 課題解決サービス</td> </tr> <tr> <td>3. 図書館サービスの歴史</td> <td>11. 高齢者サービス</td> </tr> <tr> <td>4. 図書館サービスの種類と方法</td> <td>12. 障害者サービス</td> </tr> <tr> <td>5. 資料提供サービス</td> <td>13. 図書館サービスと著作権</td> </tr> <tr> <td>6. 文件送付サービスと様々な資料提供サービス</td> <td>14. 図書館間相互協力</td> </tr> <tr> <td>7. 情報提供サービス：レファレンスサービス</td> <td>15. 今後の図書館サービスの展望</td> </tr> <tr> <td>8. 情報提供サービス：カレントウェアネスその他</td> <td></td> </tr> </table> <p>【テキスト】 宮部頼子編『図書館サービス概論』樹村房，現代図書館情報学シリーズ4，2012. 参考書：『図書館学基礎資料』樹村房の最新版</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 まず積極的に図書館を利用しましょう。そして色々な土地の図書館を訪ねてみましょう。</p> <p>【評価方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) テスト（70%），授業への取り組み（30%）の点数を総合的に判断し，評価する。 2) 出席回数が全授業回数の2/3に満たない場合は単位を与えない。 							1. オリエンテーション	9. 児童サービス、YA サービス	2. 図書館サービスの意義と理念	10. 課題解決サービス	3. 図書館サービスの歴史	11. 高齢者サービス	4. 図書館サービスの種類と方法	12. 障害者サービス	5. 資料提供サービス	13. 図書館サービスと著作権	6. 文件送付サービスと様々な資料提供サービス	14. 図書館間相互協力	7. 情報提供サービス：レファレンスサービス	15. 今後の図書館サービスの展望	8. 情報提供サービス：カレントウェアネスその他	
1. オリエンテーション	9. 児童サービス、YA サービス																					
2. 図書館サービスの意義と理念	10. 課題解決サービス																					
3. 図書館サービスの歴史	11. 高齢者サービス																					
4. 図書館サービスの種類と方法	12. 障害者サービス																					
5. 資料提供サービス	13. 図書館サービスと著作権																					
6. 文件送付サービスと様々な資料提供サービス	14. 図書館間相互協力																					
7. 情報提供サービス：レファレンスサービス	15. 今後の図書館サービスの展望																					
8. 情報提供サービス：カレントウェアネスその他																						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
80060		情報サービス論	2		後期	
<p>後日配布</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放																		
80070		児童サービス論	2	千 錫烈	集中 (2月)																			
<p>【達成目標】 乳幼児や青少年は成人とは異なり、その年齢・発育段階に合わせたきめ細かいサービスを提供しなければならない。本科目では、子どもの心身の発育や年齢によって異なる読書心理についての基礎知識を理解した上で、児童サービスの意義、方法、実際を理解することを目標とする。</p> <p>【授業内容・方法】 本講義では、子どもにとっての読書の意義を児童サービスの歴史や読書心理を概観しながら明確にしていく。「読み聞かせ」や「ブックトーク」などの具体的なサービス方法についても演習を通じて学んでいく。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 児童サービスの意義と役割</td> <td>6. 児童資料①絵本・児童文学</td> <td>11. 「ストーリーテリング」</td> </tr> <tr> <td>2. 児童サービスの歴史の変遷</td> <td>7. 児童資料②知識の本・レファレンス資料</td> <td>「パネルシアター」</td> </tr> <tr> <td>3. 子どもの発育と読書</td> <td>8. 児童資料の選書基準と組織化</td> <td>12. 演習：お話し会</td> </tr> <tr> <td>4. 子どもの読書の現状と読書の効用</td> <td>9. 児童コレクションの形成</td> <td>13. 広報活動としての「ブックスタート」</td> </tr> <tr> <td>5. 児童サービスの種類と内容</td> <td>10. 「読み聞かせ」「ブックトーク」</td> <td>14. 学校・学校図書館との連携・協力</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>15. 「ヤングアダルトサービス」</td> </tr> </table> <p>【テキスト】 レジメを配布するため、テキストは指定しない。参考文献は授業中に適宜指示する。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 講義だけではなく、グループディスカッションやDVDの観賞や「読み聞かせ」の演習なども行っていくので積極的に参加してほしい。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度（30%）、授業中のミニレポート（40%）、試験（30%）</p>							1. 児童サービスの意義と役割	6. 児童資料①絵本・児童文学	11. 「ストーリーテリング」	2. 児童サービスの歴史の変遷	7. 児童資料②知識の本・レファレンス資料	「パネルシアター」	3. 子どもの発育と読書	8. 児童資料の選書基準と組織化	12. 演習：お話し会	4. 子どもの読書の現状と読書の効用	9. 児童コレクションの形成	13. 広報活動としての「ブックスタート」	5. 児童サービスの種類と内容	10. 「読み聞かせ」「ブックトーク」	14. 学校・学校図書館との連携・協力			15. 「ヤングアダルトサービス」
1. 児童サービスの意義と役割	6. 児童資料①絵本・児童文学	11. 「ストーリーテリング」																						
2. 児童サービスの歴史の変遷	7. 児童資料②知識の本・レファレンス資料	「パネルシアター」																						
3. 子どもの発育と読書	8. 児童資料の選書基準と組織化	12. 演習：お話し会																						
4. 子どもの読書の現状と読書の効用	9. 児童コレクションの形成	13. 広報活動としての「ブックスタート」																						
5. 児童サービスの種類と内容	10. 「読み聞かせ」「ブックトーク」	14. 学校・学校図書館との連携・協力																						
		15. 「ヤングアダルトサービス」																						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
80080		情報サービス演習A	1		後期	
<p>後日配布</p>						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
80090	80091 ~92	情報サービス演習B	1		後期	
後日配布						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放																
80100		図書館情報資源概論	2	新藤 透	後期																	
<p>【達成目標】 図書館が所蔵する資料を図書館情報資源(図書館資料)と呼ぶが、その範囲は非常に幅広い。図書や新聞・雑誌は勿論、前近代の古記録・古文書、紙芝居、CD、DVD、電子書籍も含む。また博物館が本来収蔵すべき埴輪や土器、甲冑なども図書館が所持している場合が多々あり、それらも図書館情報資源に含む。図書館司書はこれらの資料に対する基礎知識を知っていなければならない。この授業ではそれらの資料について概説的に講義を行う。また、学校図書館資料についてもその都度ふれる。</p> <p>【授業内容・方法】 様々な図書館情報資源の実物を提示し、理解を深める。「図書館の自由に関する宣言」も扱う。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. オリエンテーション</td> <td>9. 印刷資料③新聞・小冊子・博物資料など</td> </tr> <tr> <td>2. 図書館の定義、図書館学の五法則、図書館資料の定義</td> <td>10. 学校図書館資料(絵本・YA資料など)</td> </tr> <tr> <td>3. 表現の自由と検閲</td> <td>11. 非印刷資料①点字資料と点字図書館</td> </tr> <tr> <td>4. 「図書館の自由」について①</td> <td>12. 非印刷資料②マイクロ資料・映像資料・音声資料</td> </tr> <tr> <td>5. 「図書館の自由」について②</td> <td>13. 非印刷資料③ネットワーク情報資源</td> </tr> <tr> <td>6. 「図書館の自由」に関する事件</td> <td>14. 選書論・蔵書構成</td> </tr> <tr> <td>7. 印刷資料①単行書</td> <td>15. 学校図書館資料の選書・蔵書構成</td> </tr> <tr> <td>8. 印刷資料②雑誌</td> <td></td> </tr> </table> <p>【テキスト】 プリント配布</p> <p>【受講生へのメッセージ(授業評価を踏まえた方針など)】 積極的に授業に臨んでほしい。</p> <p>【評価方法】 テスト(80%)、授業への参加度(20%)。</p>							1. オリエンテーション	9. 印刷資料③新聞・小冊子・博物資料など	2. 図書館の定義、図書館学の五法則、図書館資料の定義	10. 学校図書館資料(絵本・YA資料など)	3. 表現の自由と検閲	11. 非印刷資料①点字資料と点字図書館	4. 「図書館の自由」について①	12. 非印刷資料②マイクロ資料・映像資料・音声資料	5. 「図書館の自由」について②	13. 非印刷資料③ネットワーク情報資源	6. 「図書館の自由」に関する事件	14. 選書論・蔵書構成	7. 印刷資料①単行書	15. 学校図書館資料の選書・蔵書構成	8. 印刷資料②雑誌	
1. オリエンテーション	9. 印刷資料③新聞・小冊子・博物資料など																					
2. 図書館の定義、図書館学の五法則、図書館資料の定義	10. 学校図書館資料(絵本・YA資料など)																					
3. 表現の自由と検閲	11. 非印刷資料①点字資料と点字図書館																					
4. 「図書館の自由」について①	12. 非印刷資料②マイクロ資料・映像資料・音声資料																					
5. 「図書館の自由」について②	13. 非印刷資料③ネットワーク情報資源																					
6. 「図書館の自由」に関する事件	14. 選書論・蔵書構成																					
7. 印刷資料①単行書	15. 学校図書館資料の選書・蔵書構成																					
8. 印刷資料②雑誌																						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
80110		情報資源組織論	2	新藤 透	後期	

【達成目標】

膨大な数に上る図書館資料を一定の法則に基づいて整理し、図書館利用者の利便性を高めることは、図書館員としての責務である。本講義では、図書館資料を分類整理する際の基礎的な知識を身に付けて貰うことを目的とする。学校図書館の情報組織化についてもその都度講義でふれる。

【授業内容・方法】

講義形式で行い、適宜、ナマの図書館資料を回覧して受講生の理解を深めたい。

【授業計画】

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報資源とは何か 2. 情報資源の目録作成と分類の意義 3. 書誌コントロールの定義と対象 4. 書誌コントロールとメタデータ 5. 書誌ユーティリティと JAPAN MARC 6. OPAC の概要 7. 様々な書誌記述法の歴史と概要 8. 『日本目録規則』の歴史と内容 | <ol style="list-style-type: none"> 9. 『日本目録規則』による書誌記述法の概要 10. 様々な分類法の歴史と概要 11. 『日本十進分類法』の歴史と内容 12. 『日本十進分類法』による分類法の概要 13. 『基本件名標目標』とシソーラス 14. 学校図書館用の件名について 15. まとめ |
|--|--|

【テキスト】

プリント配布

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

積極的に授業に臨んでほしい。

【評価方法】

テスト(80%)、授業への参加度(20%)。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
80120		情報資源組織演習	2	新藤 透	通年	

【達成目標】

この授業は、図書館資料を分類し、目録を作成する基礎を演習を通して実際に身につけてもらうことを目的とする。分類とは分類記号を付与することを意味し（情報資源分類法）、目録とはカード目録を作成（情報資源目録法）することである。

【授業内容・方法】

講義・演習形式で行い、適宜、ナマの図書館資料を回覧して受講生の理解を深めたい。

【授業計画】

- | | |
|---|--|
| <p>(前期)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1～15 目録法 <p>※『日本目録規則』1987年版改訂3版を用い、カード目録記述の演習を中心に行なう。</p> | <p>(後期)</p> <ol style="list-style-type: none"> 16～30 分類法 <p>※『日本十進分類法』新訂9版を用い、図書分類の演習を中心に行なう。</p> |
|---|--|

【テキスト】

前期は、新藤透『情報資源組織目録法演習』改訂版，誠道書店，2015. 定価 1000 円
 後期は、新藤透『情報資源組織分類法演習』改訂版，誠道書店，2015. 定価 1000 円
 (参考文献)『日本目録規則』1987年版改訂3版、『日本十進分類法』新訂9版

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

各自積極的に臨むようにしてください。

【評価方法】

前後期末テスト（前期末、後期末試験の点数を合計して2で割った点数を元に判定，80%）、授業への参加度(20%)。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
80130		文献情報学	2	新藤 透	前期	

【達成目標】

図書館司書として、または一般教養として日本書誌学と図書館史の基礎知識を身につけて貰うことを目標とする。

【授業内容・方法】

本講義では、図書・図書館の歴史と図書館情報資源としての和本の活用について学習し、受講生に前近代資料に関心を持たせることを目標とする。

【授業計画】

- | | | |
|-------------------|--------------------------|---------|
| 1. オリエンテーション | 8. 近代日本の図書と図書館 | 15. まとめ |
| 2. 西洋古代・中世の図書と図書館 | 9. 和本の構造①大きさや装丁 | |
| 3. 市民革命と図書館 | 10. 和本の構造②表紙と外題・内題、前付と後付 | |
| 4. アメリカの図書館の歴史 | 11. 和本の構造③本文（ほんもん） | |
| 5. 古代日本の図書と書館 | 12. 和本の構造④刊記と奥書、書入・蔵書印 | |
| 6. 日本近世の図書と出版 | 13. 国文学研究と書誌学 | |
| 7. 日本近世の「図書館」 | 14. 日本史学研究と書誌学 | |

【テキスト】

プリント配布

【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】

江戸期の和本を実際に触って貰います。破かないように気をつけましょう。

【評価方法】

レポート（70%）、授業への参加度（30%）。

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放																
80210		学校経営と学校図書館	2	杉山 悦子	集中 (9月)																	
<p>【達成目標】 司書教諭講習科目の総論的性格をもつ当科目では、学校図書館の歴史や制度、および学校経営における図書館運営の理論を学修し、教育における学校図書館の役割を理解することを目標とする。</p> <p>【授業内容・方法】 現代の学校図書館における課題を、各地の事例から考察していく。学校図書館の歴史や施策については、関連する史料を読み解いていく。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 教育の課題と学校図書館</td> <td>9. 学校図書館メディアの収集と選択</td> </tr> <tr> <td>2. 歴史にみる学校図書館の理念</td> <td>10. 学校図書館メディアの提供と管理</td> </tr> <tr> <td>3. 学校図書館に関する法制度</td> <td>11. 学校図書館の研修及び人的連携</td> </tr> <tr> <td>4. 教育行政における学校図書館の施策</td> <td>12. 学校図書館の諸活動とその広報</td> </tr> <tr> <td>5. 学校空間における図書館施設の機能性</td> <td>13. 学校図書館と各機関とのネットワーク</td> </tr> <tr> <td>6. 学校図書館の経営計画及び運営の評価</td> <td>14. 知識基盤型社会及び高度情報社会における学校図書館の展開</td> </tr> <tr> <td>7. 学校の教育計画と図書館活用</td> <td>15. 学校図書館の課題と未来</td> </tr> <tr> <td>8. 配慮を要する学校図書館の支援機能</td> <td></td> </tr> </table> <p>【テキスト】 プリントを配付する。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 1時間目に講義の概要について説明します。受講生の理解度を図りながら講義を進めていきます。</p> <p>【評価方法】 試験 60%、授業内の提出物 40%。</p>							1. 教育の課題と学校図書館	9. 学校図書館メディアの収集と選択	2. 歴史にみる学校図書館の理念	10. 学校図書館メディアの提供と管理	3. 学校図書館に関する法制度	11. 学校図書館の研修及び人的連携	4. 教育行政における学校図書館の施策	12. 学校図書館の諸活動とその広報	5. 学校空間における図書館施設の機能性	13. 学校図書館と各機関とのネットワーク	6. 学校図書館の経営計画及び運営の評価	14. 知識基盤型社会及び高度情報社会における学校図書館の展開	7. 学校の教育計画と図書館活用	15. 学校図書館の課題と未来	8. 配慮を要する学校図書館の支援機能	
1. 教育の課題と学校図書館	9. 学校図書館メディアの収集と選択																					
2. 歴史にみる学校図書館の理念	10. 学校図書館メディアの提供と管理																					
3. 学校図書館に関する法制度	11. 学校図書館の研修及び人的連携																					
4. 教育行政における学校図書館の施策	12. 学校図書館の諸活動とその広報																					
5. 学校空間における図書館施設の機能性	13. 学校図書館と各機関とのネットワーク																					
6. 学校図書館の経営計画及び運営の評価	14. 知識基盤型社会及び高度情報社会における学校図書館の展開																					
7. 学校の教育計画と図書館活用	15. 学校図書館の課題と未来																					
8. 配慮を要する学校図書館の支援機能																						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放																
80220		学校図書館 メディアの構成	2	新藤 透	後期																	
<p>【達成目標】 学校図書館とは、小中高の児童・生徒と教員に対して資料提供を行う施設であり、司書教諭はその管理運営を行う「専門職」である。近年、図書館は情報メディアセンターとしての役割が期待されており、学校図書館といえども例外ではない。本講義では司書教諭としてメディア提供を行う際の基礎知識を講義する。</p> <p>【授業内容・方法】 講義形式で行い、適宜、ナマの学校図書館資料を回覧する。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>1 オリエンテーション</td> <td>9 図書選択論の歴史と現状</td> </tr> <tr> <td>2 学校図書館メディア構成の視点</td> <td>10 蔵書評価と蔵書と更新</td> </tr> <tr> <td>3 学校図書館メディア構成の種類と特性①印刷メディア</td> <td>11 図書の受入・装備・排架</td> </tr> <tr> <td>4 学校図書館メディア構成の種類と特性②視聴覚メディア</td> <td>12 分類法①</td> </tr> <tr> <td>5 学校図書館メディア構成の種類と特性③電子メディア</td> <td>13 分類法②</td> </tr> <tr> <td>6 学校図書館メディア構成の種類と特性④特別支援メディア</td> <td>14 目録法①</td> </tr> <tr> <td>7 学校図書館メディア構成の種類と特性⑤その他のメディア</td> <td>15 目録法②</td> </tr> <tr> <td>8 収集方針・除籍基準</td> <td></td> </tr> </table> <p>【テキスト】 緑川信之編『学校図書館メディアの構成』第二版（学文社、2008）定価 1800 円＋税</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 受講生には積極的に授業に臨んでほしいと思います。</p> <p>【評価方法】 テスト（80%）、授業への参加度（20%）</p>							1 オリエンテーション	9 図書選択論の歴史と現状	2 学校図書館メディア構成の視点	10 蔵書評価と蔵書と更新	3 学校図書館メディア構成の種類と特性①印刷メディア	11 図書の受入・装備・排架	4 学校図書館メディア構成の種類と特性②視聴覚メディア	12 分類法①	5 学校図書館メディア構成の種類と特性③電子メディア	13 分類法②	6 学校図書館メディア構成の種類と特性④特別支援メディア	14 目録法①	7 学校図書館メディア構成の種類と特性⑤その他のメディア	15 目録法②	8 収集方針・除籍基準	
1 オリエンテーション	9 図書選択論の歴史と現状																					
2 学校図書館メディア構成の視点	10 蔵書評価と蔵書と更新																					
3 学校図書館メディア構成の種類と特性①印刷メディア	11 図書の受入・装備・排架																					
4 学校図書館メディア構成の種類と特性②視聴覚メディア	12 分類法①																					
5 学校図書館メディア構成の種類と特性③電子メディア	13 分類法②																					
6 学校図書館メディア構成の種類と特性④特別支援メディア	14 目録法①																					
7 学校図書館メディア構成の種類と特性⑤その他のメディア	15 目録法②																					
8 収集方針・除籍基準																						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放																
80230		学習指導と学校図書館	2	伊藤 弘昭	集中 (2月)																	
<p>【達成目標】 学校図書館の利用指導、学習指導における学校図書館メディアの活用についての基本的理解と具体的な方法を、各教科科目との連携を中心に学習する。</p> <p>【授業内容・方法】</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 教育課程と学校図書館</td> <td>10～11. 学習指導における学校図書館の利用</td> </tr> <tr> <td>2～3. 学校図書館における利用指導の意義・目的</td> <td>・各教科学習の展開と学校図書館（学習指導要領を中心に）</td> </tr> <tr> <td>4. 発達段階に応じた学校図書館メディアの構成</td> <td>・調べ学習と学校図書館の活動（児童生徒の図書館利用を中心に）</td> </tr> <tr> <td>5～8. 学校図書館の利用指導の領域と内容</td> <td>・特設時間における利用指導</td> </tr> <tr> <td>9. 児童生徒の学校図書館メディア活用能力の育成と方法</td> <td>12～13. 学習課程における学校図書館メディア活用の実際</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・各教科学習と学校図書館メディア（代表的参考図書の理解等）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>14. 情報サービス（レファレンスサービス等）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>15. 教員への支援及び他教員との連携</td> </tr> </table> <p>【テキスト】 プリント等配布</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 ビデオ等視聴覚教材をできるだけ用いて具体的な理解ができるようこころがけますが、学生のみならずも図書館を利用する機会を増やし、図書館の理解を深めるようにしてください。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度（20%）、課題サポート【授業内】（80%）</p>							1. 教育課程と学校図書館	10～11. 学習指導における学校図書館の利用	2～3. 学校図書館における利用指導の意義・目的	・各教科学習の展開と学校図書館（学習指導要領を中心に）	4. 発達段階に応じた学校図書館メディアの構成	・調べ学習と学校図書館の活動（児童生徒の図書館利用を中心に）	5～8. 学校図書館の利用指導の領域と内容	・特設時間における利用指導	9. 児童生徒の学校図書館メディア活用能力の育成と方法	12～13. 学習課程における学校図書館メディア活用の実際		・各教科学習と学校図書館メディア（代表的参考図書の理解等）		14. 情報サービス（レファレンスサービス等）		15. 教員への支援及び他教員との連携
1. 教育課程と学校図書館	10～11. 学習指導における学校図書館の利用																					
2～3. 学校図書館における利用指導の意義・目的	・各教科学習の展開と学校図書館（学習指導要領を中心に）																					
4. 発達段階に応じた学校図書館メディアの構成	・調べ学習と学校図書館の活動（児童生徒の図書館利用を中心に）																					
5～8. 学校図書館の利用指導の領域と内容	・特設時間における利用指導																					
9. 児童生徒の学校図書館メディア活用能力の育成と方法	12～13. 学習課程における学校図書館メディア活用の実際																					
	・各教科学習と学校図書館メディア（代表的参考図書の理解等）																					
	14. 情報サービス（レファレンスサービス等）																					
	15. 教員への支援及び他教員との連携																					

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放																		
80240		読書と豊かな人間性	2	千 錫烈	集中 (2月)																			
<p>【達成目標】 乳幼児や青少年は成人とは異なり、その年齢・発育段階に合わせたきめ細かいサービスを提供しなければならない。本科目では、子どもの心身の発育や年齢によって異なる読書心理についての基礎知識を理解した上で、児童サービスの意義、方法、実際を理解することを目標とする。</p> <p>【授業内容・方法】 本講義では、子どもにとっての読書の意義を児童サービスの歴史や読書心理を概観しながら明確にしていく。「読み聞かせ」や「ブックトーク」などの具体的なサービス方法についても演習を通じて学んでいく。</p> <p>【授業計画】</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 児童サービスの意義と役割</td> <td>6. 児童資料①絵本・児童文学</td> <td>11. 「ストーリーテリング」</td> </tr> <tr> <td>2. 児童サービスの歴史の変遷</td> <td>7. 児童資料②知識の本・レファレンス資料</td> <td>「パネルシアター」</td> </tr> <tr> <td>3. 子どもの発育と読書</td> <td></td> <td>12. 演習：お話会</td> </tr> <tr> <td>4. 子どもの読書の現状と読書の効用</td> <td>8. 児童資料の選書基準と組織化</td> <td>13. 広報活動としての「ブックスタート」</td> </tr> <tr> <td>5. 児童サービスの種類と内容</td> <td>9. 児童コレクションの形成</td> <td>14. 学校・学校図書館との連携・協力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10. 「読み聞かせ」「ブックトーク」</td> <td>15. 「ヤングアダルトサービス」</td> </tr> </table> <p>【テキスト】 レジメを配布するため、テキストは指定しない。参考文献は授業中に適宜指示する。</p> <p>【受講生へのメッセージ（授業評価を踏まえた方針など）】 講義だけではなく、グループディスカッションやDVDの観賞や「読み聞かせ」の演習なども行っていくので積極的に参加してほしい。</p> <p>【評価方法】 授業への参加度（30%）、授業中のミニレポート（40%）、試験（30%）</p>							1. 児童サービスの意義と役割	6. 児童資料①絵本・児童文学	11. 「ストーリーテリング」	2. 児童サービスの歴史の変遷	7. 児童資料②知識の本・レファレンス資料	「パネルシアター」	3. 子どもの発育と読書		12. 演習：お話会	4. 子どもの読書の現状と読書の効用	8. 児童資料の選書基準と組織化	13. 広報活動としての「ブックスタート」	5. 児童サービスの種類と内容	9. 児童コレクションの形成	14. 学校・学校図書館との連携・協力		10. 「読み聞かせ」「ブックトーク」	15. 「ヤングアダルトサービス」
1. 児童サービスの意義と役割	6. 児童資料①絵本・児童文学	11. 「ストーリーテリング」																						
2. 児童サービスの歴史の変遷	7. 児童資料②知識の本・レファレンス資料	「パネルシアター」																						
3. 子どもの発育と読書		12. 演習：お話会																						
4. 子どもの読書の現状と読書の効用	8. 児童資料の選書基準と組織化	13. 広報活動としての「ブックスタート」																						
5. 児童サービスの種類と内容	9. 児童コレクションの形成	14. 学校・学校図書館との連携・協力																						
	10. 「読み聞かせ」「ブックトーク」	15. 「ヤングアダルトサービス」																						

科目コード	授業コード	科目名	単位	担当者	開講	開放
80250		情報メディアの活用	2		後期	
<p>後日配布</p>						